

新時代対応した 「人財」育成を

武田修三郎氏が講演

南西地域産業活性化センター(NIAC)は18日、那覇市のザ・ナハテラスで「エネルギー・クエスチョン 世界的チェンシッパラタイムソフト」の中で」と題した講演会を開いた。

講師は日本産業フォーラム前事務局長で早稲田大学総長室参与の武田修三郎氏。

武田氏は、手軽に情報交換できる「ツイッター」の流行で、双方向の意見交換がより充実し、世界的に新しい文明が誕生し始めていると説明。「世界の進歩に対応するには大学教育など教育の充実が必要だ」と強調した。

沖縄の現状については「大学の入学率を上昇させ、新時代に対応した人財育成を始めるときだ」と訴

えた。

今後の日本については「経済危機に対して楽観視せず、理解力の育成に注目した教育が重要だ。国内だけの発展ではなく、世界で通用する人財育成が求められている」と述べた。

2010 01 19 琉球新報

社会変化背景に 新エネアピール

早大参与武田氏が講演

エネルギーの安全保障を考える講演会が18日に那覇市であった。南西地域産業活性化センター主催で、センター顧問の武田修三郎・早稲田大総長室参与が「エネルギー・クエスチョン」という題で講演。情報化など大規模な変化を背景に、新エネルギーが見直されている点を指摘した。

ただ、国内総生産が伸び悩む日本は「変化に取り残される可能性がある」と警告し、大規模な電気自動車導入実験など県内でも新しい試みが必要だと訴えた。

2010 01 19 沖縄タイムス